



立体作品の製作に夢中

先日、図工室をのぞくと5年生が丁寧に色付けしたり、パーツを組み合わせて何に見えるかを真剣に考えたりしていました。好きな形に糸のこで切り出した後に組み立てるという手順で作っていました。子ども達の自由な発想に感心します。同じ形で表と裏で色を変えるアイデアや、組み立て方をいろいろ変えて動物を作るなど、枠にとらえられないところが子どもらしいと思います。

アートは自由な表現を楽しめます。担任時代は、図工の時間が大好きでした。朝の時間に毎週1回アートtimeを設けて、切り絵や組みひも、ミニ工作などをしていた頃もありました。子どもが製作したものはどれも良さがあります。色の美しさ、形のおもしろさ、組み合わせの工夫など、褒めるところが必ずあります。

週末23日～27日(27日のみ2時まで)に、神埼情報館2Fにて「神埼地区立体作品展」が開催されています。地区内の子ども達のアート心あふれる作品をぜひ、ご家族でご覧くださいませ。



挨拶ボランティア 第9期へ



2月はボランティア隊の交代時期です。今回は3年生が登場します。5人が立候補してくれました。

気持ちも新たに、また新メンバーでがんばりましょう！ よろしくお願ひします。

卒業面談が始まりました

卒業を前によく会食をされている学校が多いのですが、校長職に就いて以来こだわってやってきたのが「卒業面談」です。今年は最後となりますが、毎回子ども達と1対1で楽しい時間を過ごさせてもらっています。

話す内容は小学校の思い出や友達、中学生に向けての決意等々。尋ねる内容は、あらかじめ決まってはいますが、その子だからその質問をすることもあります。これまで知らなかった一面を発見するのがこちらとしては愉しみとなっています。

今年の6年生は年度初めにも一度面談を行っているので、子ども達も慣れたようでリラックスして話してくれます。

わずか5分ですが、されど5分です。締めの問題は、「校長先生に伝えたいこと」を聞いています。御礼を言われたり、逆質問されたりと様々ですが、毎回楽しみです。

来週まで続く面談。それが終わると次はいよいよ卒業式練習です。



水曜の朝、立番が終わり校長室に戻ると、窓辺にちょこんとお花が置かれていました。ごんぎつね花バージョン？と思わず笑顔に。誰かわかりませんが、さりげなく置いてくれたところが何とも言えずかわいいですね…

挨拶が少しずつレベルアップ

2月の全校朝会であと一つ頑張ってお願ひしたいことがあるということで、「自分から挨拶」をお願ひしました。最近、5年生がぐっとレベルが上がってきているように感じます。最上級生に近づいているからでしょうか。

3月1日の全校朝会では、挨拶のことを聞いてみようと思っています。

教育者森信三先生が唱える、躰の3大原則

- 1 挨拶は自分から
- 2 名前を呼ばれたら元気に「はい」と返事
- 3 はきものはそろえる

2月前半まではインフルエンザに苦しみました。過ぎてみると1クラスだけの学級閉鎖で乗り切ることができました。これは、かなり少ない数字だと思います。残り15日プラス4日の令和5年度。全出席でいきましょう！